

皮膚科の卒後研修

旭川医大での卒後臨床研修について

～皮膚科は選択実習科目です～

皮膚科選択実習の際の目標

皮膚科を志望する・しないに関わらず、

臨床医師として必須の体表視診・触診のノウハウや縫合などの小外科処置を学び、診断・検査や治療を経験することで、**皮膚の異変に対する初期対応**を身につける

これまでの実績

皮膚科へ進んだ者以外に、内科、麻酔科、小児科、精神科、耳鼻科など、様々な科を専攻した先生方が選択してくれており、**皮膚科との架け橋**となって、**互助ネットワークの充実**に貢献してくれています。

研修医の約3割が燃え尽きている

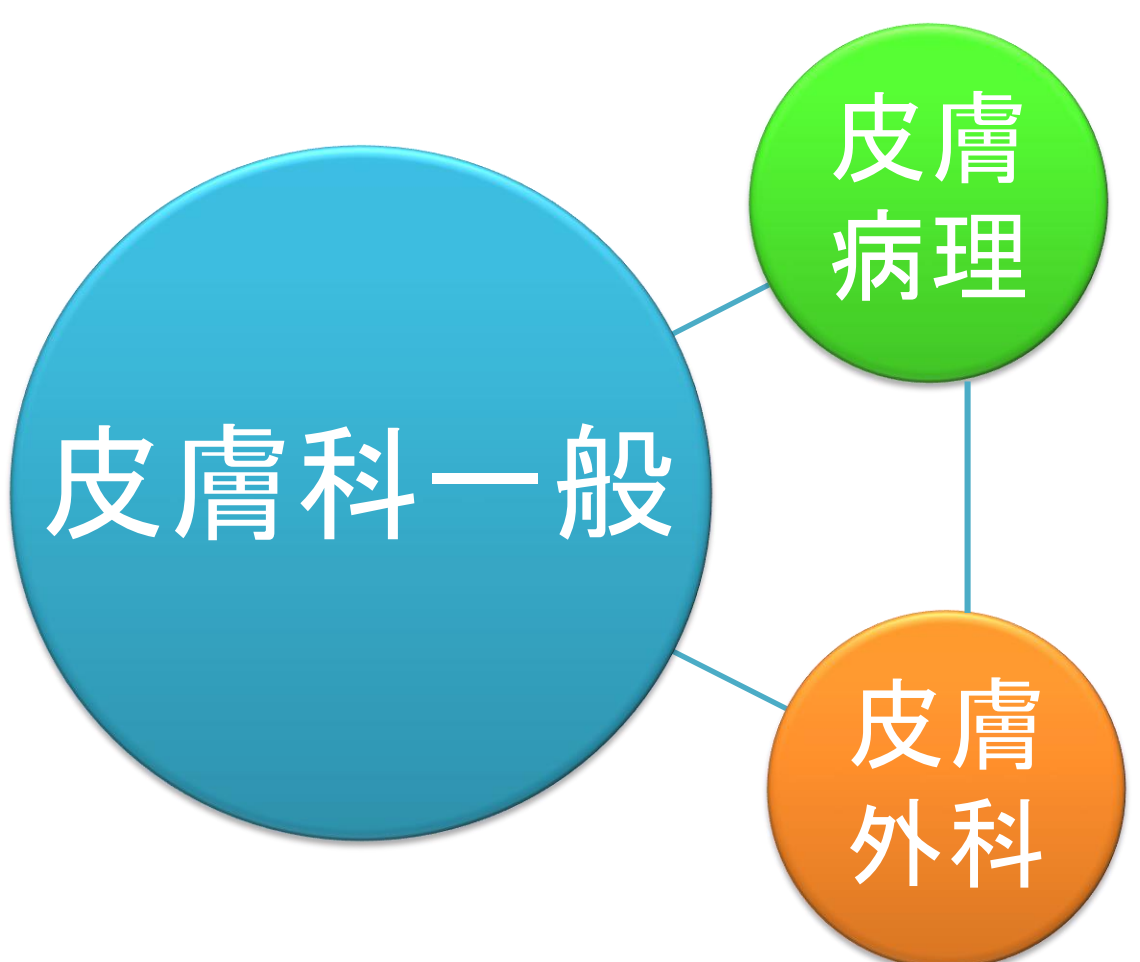
伊奈波ら 日職災医誌 2009, 2010

研修医には強いストレスがかかります。バーンアウトを予防するためには、職場の上司や同僚、家族及び友人のサポートが重要と考えられています。設備や待遇だけではなく、**サポート体制の整ったところ、これまで培った人間関係を生かせるところ**を選ぶことをお勧めします。

旭川医大皮膚科の後期研修

～皮膚科専門医を目指すための研修について～

皮膚科の基礎 3 本柱



皮膚病理を学ぶ環境

(平成25年度実績)

- 当科内で標本作製から診断までを一貫して行っています
- 症例数 1,846検体/年 **♪**
豊富な症例数を誇ります

福利厚生

(平成25年度実績)

- 医局内懇親会 5回/年
(上記は公式確認分 (お花見、BBQ、牡蠣会、ピザ会、忘年会) 他に非公式会合多数と推定)
仲の良い医局だと思います
- 医局対抗野球参加
(腎泌尿器外科と合同チーム 残念ながら初戦敗退)
- 夏季休暇 5日間/年 **→**
(後期研修医も週末込みで連続9日間以上を保障)

子育て環境

(平成25年度実績)

- 二輪草刈医師 2名
- 育休中医師 1名
(平成26年度復帰予定)
- お母さん医師 4名
復職のノウハウが豊富です

皮膚科一般を学ぶ環境

(平成25年度実績)

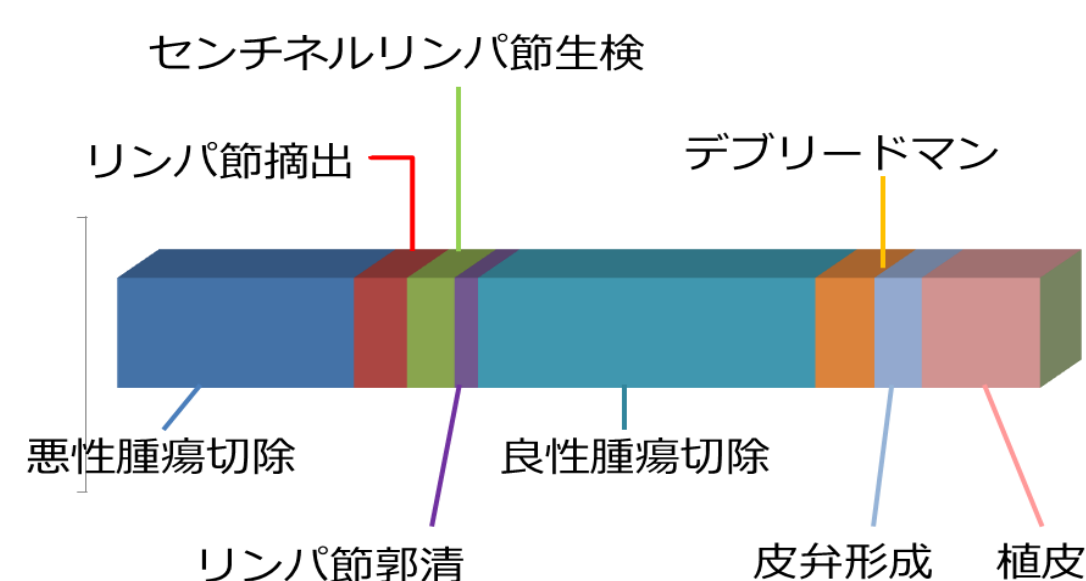
- 外来患者延数 約34,000人/年 **♪**
- 初診患者数 約1,200人/年 **♪**
- 入院患者数 約400人/年 **→**

豊富な症例から様々なことを学べます

皮膚外科を学ぶ環境

(平成24年実績)

- 手術室利用手術数 287件/年 **♪**
- うち悪性腫瘍数 78件/年 **♪**
(いづれも外来での手術を除く)
- 287件の内訳



- 国立がんセンターを中心に全国17施設で構成される **Japan Clinical Oncology Group**の一員として、皮膚悪性腫瘍の標準治療の確立に貢献しています

学術研究

(平成25年度実績)

- 海外留学 1名 (米国シカゴ)
- 大学院生 1名
- 論文発表 29編 (うち後期研修医 2編)
- 学会発表 74編 (うち後期研修医 9編) など
昨年度は北海道地方会賞受賞者を輩出

研修協力病院

(平成26年度予定)

- 市立稚内病院
 - 旭川厚生病院
 - 名寄市立総合病院
 - 市立旭川病院
 - 北見赤十字病院
 - 旭川赤十字病院
- Common diseaseの研修もバッチリ!**